

## MIHO 美学院中等教育学校

## 活動テーマ

## 自然農法を通じて地域交流しよう！

## 実践事例について

総合的な学習の時間を中心に行っている自然農法は13年目を迎えた。3年生は、うるち米を乾田苗代での育苗から田植え、草取り、収穫をし、自分たちの食事作りの日に全校生徒に提供することができた。また、3年間で学んだ畑作、稲作、田んぼの生き物調査についてまとめ、学習成果発表会で展示発表を行った。地域行事では、「虫送り」が復活し、提灯やたいまつを自分たちで作り、「虫送り」の伝統行事を地域の方と行うことができた。

ボランティア活動では、被災地から離れた場所でも可能な支援活動として、「写真洗浄」の取り組みを行ってきた。今年度はボランティア委員会が発足し、昨年3月より始まった甲賀市社会福祉協議会と連携して開催している、「災害について考える」ワークショップは、2月に5回目を迎える。地域との交流から、自分たちにできる身近な活動についても考えていきたい。

## 1 農と食の連携

## (1) 自然農法の実践



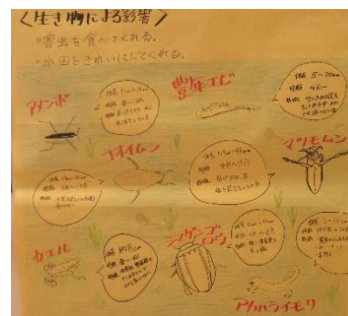
3年生 粃播きと稲刈りの様子

◎ 1, 2年生 ミニトマト、シシトウ、大豆、サツマイモを、一人一人の畑（マイガーデン）で栽培。播種→鉢上げ→鉢替え→定植→草取りや支柱立て、敷草などのお世話→収穫→種採りを行った。収穫した野菜はピザ作りをしたり、学校での食事作りの食材として使用した。また、1年生は地域の特産物であるお茶摘みとお茶作り体験を実施し、今年も釜炒り茶に挑戦した。地域の茶畑で毎年体験させていただいている。

1, 2年生の畑では、今年度初めてシカの食害にあい、大豆が全滅した。

◎ 3年生 稲作と大豆の栽培。稲作では、乾田苗代作り→苗取り→田植え→除草→稲刈り→脱穀体験を行った。また、田植え後には毎年、「田んぼの生き物調査」を行っており、今年度もシマゲンゴロウやコオイムシ、ホウネンエビなどが見つかった。大豆の栽培も行ったが、今年度は夏の気温が高く、大豆はほとんど実が入らなかった。

夏休み後に冬野菜として大根を播種、収穫した。



3年生 ポスター展示

◎ 4年生 小豆、鶴首かぼちゃの栽培を行った。小豆、かぼちゃともに良く育ち、例年以上の収穫となった。かぼちゃは食材として利用、小豆はお菓子作りに使用予定。

◎ シードバンク見学（1～4年生、6年生）  
 自然農法では自家採種をしているが、今年度SNNシードバンクが竣工し、種のソムリエとして活動されている中本浩史さんに、種の現状や種の保管方法についてレクチャーしていただいた。今後の自家採種の活動に役立てていきたい。



シードバンク見学の様子

(2) 食事作り



食事作りと打ち合わせの様子

◎ 毎日の食事作りは基本的に生徒が行っている。1～3年生は学年単位で昼食作りをしているが、そのための打ち合わせを何回か重ね、材料を調べたり、タイムスケジュールの作成も行っている。自分たちで育てた野菜を食材として使うこともあるが、今年度3年生は、自分たちで育てたお米を使って食事作りをした。(1月31日、2月7日) 食事前には各担当が、その日の料理や食材(産地等)の説明を行っている。

2 地域行事

◎ 学校が位置する信楽町畑区では、夏に「虫送り」(火のついたたいまつを持って歩き、農作物につく害虫を追い払い、その年の豊作を祈願する)という伝統行事がある。コロナ禍で参加できない期間があったが、昨年より再び参加可能になった。神社での神事行事でいただいた火で、手作りのたいまつに火をつけ、提灯を灯し、地域の方とともに歩いて回った。(7月13日)

翌朝は、道路上に残っているたいまつ燃えかすなどを拾って歩き、道路清掃も行った。



「虫送り」のための提灯作りと「虫送り」

3 ボランティア活動

◎ 被災地へのボランティア活動から、「写真洗浄」との出会いがあり、被災地へ赴くことなく可能な支援活動として、被災した写真をきれいにし持ち主のもとに届ける「写真洗浄」ボランティアを学校で取り組んできた。

昨年3月に、甲賀市社会福祉協議会と連携して阪神淡路大震災の語り部の話を聞き、生徒が地域の方に「写真洗浄」を体験してもらう「災害について考える」ワークショップが開かれ、その後も継続的に開催されている。(2月で5回目)

ボランティア活動の活性化から、生徒はボランティア委員会を立ち上げ、「写真洗浄」ボランティアを定期的に行い、ワークショップ内でも積極的に活動している。「写真洗浄」を全校で取り組むために、1年生にはボランティアについて学び、「写真洗浄」を体験する時間を設けた。



1年生が行った「写真洗浄」

学校名	MIHO美学院中等教育学校
住所	甲賀市信楽町畑369
電話番号	0748-82-3435
E-mail	<a href="mailto:ta-tomoko@mihobigaku.jp">ta-tomoko@mihobigaku.jp</a> (担当 高橋)